

## ナイジェリアでラッサ熱が発生(更新1)

2012年2月23日 ProMED 情報 (AllAfrica, Leadership Newspaper report)



2月21日、保健大臣によると、国内でこの6週間に40名が死亡しました。これまでに397名の患者が報告され、死亡した患者のうち6名は医療関係者(医師2名、看護師4名)でした。患者が報告された州は、エド Edo 州、ナサラワ Nasarawa 州、プラトー Plateau 州、エボニ Ebonyi 州、タラバ Taraba 州、ヨベ Yobe 州、オンド Ondo 州、リバーズ Rivers 州、ゴンベ Gombe 州、アナンブラ Anambra 州、デルタ Delta 州、ラゴス Lagos 州の12州です。また、患者397名のうち87名のみが確定診断されています。治療薬のリバビリンはすでに流行地域に配布され、全国9箇所にラッサ熱の検査ができる専門的なセンターが設置されています。

ラッサ熱は、西アフリカのリベリア、シエラレオネ、ギニアや中央アフリカ、コンゴ民主共和国で流行します。年間30~50万名の患者が発生し、約5,000名が死亡しています。

〔ProMED 調整者〕 感染者の80%は症状はありませんが、残りは多臓器にわたる症状を引き起こします。症状は多彩かつ非特異的なので、特に発病初期は診断が困難です。発熱性疾患であるマラリア、赤痢、腸チフス、黄熱、およびその他の出血熱と鑑別が困難です。今回の流行は、最初に今年1月18日に報告した時より、明らかに流行地域は拡大しており、国内36州のうち12州で報告されています。